

# 介護ステーション ぶらんち ニュースレター

Vol. **85**

令和6年1月号

今年2024年は、スタートから波乱万丈！

皆さま、明けましておめでとうございます。  
今年もよろしくお願い致します。

さて、今年明けて早々、令和6年能登半島地震、そして、羽田空港衝突事故と続きました。

予測外の状況になったり、事故・災害が起こるのは、もはや、当たり前の中なのかもしれません。

そのために、そのような事態に見舞われても、大丈夫な自分であること

その時、どうありたいか、どう考えるか、

自分という生き物を自分なりに理解しておくことが必要ではないか、と思えます。

能登半島地震でも衝突事故でも、

リーダー的な役割を担う方々が発生しますが、

そのリーダーは、カリスマ性というより、

よりまわりを考える知識と行動力のある方のように思いました。

今を牽引していくリーダーは、より俯瞰的にまわりを考えられる「愛」が

求められています。まずは、自分を愛せるよう、自分を知る年にしたいです。



## 介護業界を盛り上げよう！！

先月の続き……

先月、今、訪問介護で必要なこと、3つ書かせて頂きましたが、

その中の①

「訪問エリアの区分けを地域で、区で、市で実施する」

これは、震災時に役立つこと、と考えています。

エリアごとに事業所を明確にしておくこと、

そのエリアに住んでいる、高齢者・障害者の方々の情報を知っていることで、

震災時にどう動き、何をを用意するか、

がすぐにわかる。

病院へ運ぶ必要の方もすぐにわかるので、

より命を優先した動きが取れる。

ただ、エリアを明確化するには、

事業所の売上・利益を考えたエリア分けをする、が大前提ではあります。

昔からの繋がりやなんとなくの感情ではなく、

明らかなデジタル化が必要ではないでしょうか。

それには、事業所・会社が、情報を開示し、

協力しあう雰囲気づくりが大切なのかもしれません。

## ぶらんちの今を紹介

この1月、2月、3月は、年末年始のお休みが取れなかったスタッフのお休みを何とか取れる様にしたい、と考えております。

この介護業界、他の業界と比べ、ブラックと言われる所以は、世の中がお休みモードの時。お休み出来ない！ ことが一因。

私が、この介護業界に入った約30年前より、かなり改善されてはいますが……

ただ、この業界に興味を持ち、働き続け、より専門性を高めてもらいたい。そのためには、まずは、お休みがある程度！ 取れる、になること。

命がかかっている仕事ですので、完璧は難しくとも、あきらめず、環境は整えていきたい、と考えております。